

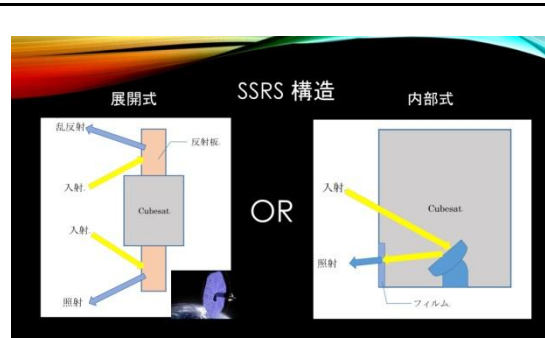
# スペースキモツキキャンプ人工衛星開発計画

[A班]

チーム名： YDK

プロジェクト名：肝付アラス化プロジェクト

 <p>肝付アラス化プロジェクト</p> <p>Team YDK ft . Sam リン ゆうな まさき ダイチ まさと ゆうき</p>	 <h3>ミッションの内容</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>•肝付町上空にオーロラを発生させる</li><li>•肝付町の活性化</li></ul>
 <h3>なぜ実現させたいのか？</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>•ロマンがある</li><li>•中々見られなくて珍しい</li><li>•肝付町が話題になる</li><li>•最先端のエンターテインメント</li></ul>	 <p>肝付町</p>
 <h3>夢のコラボレーション</h3> 	 <h3>SSRS 導入について</h3> <h4>Solar Spread &amp; Reflection System</h4> <p>太陽光を衛星の反射板で反射し、その光が色つきのフィルムを通ることに色が変化し、光が広がり、上空に人為的なオーロラを発生させる。</p>



ミッションをどのように進めていくか

- ① 企画 (2日間)
- ② 計画 (2ヶ月)
- ③ バス部・SSRS開発 (1年間) + 手続き (半年)  
※ 実質、手続きは1年半
- ④ 打ち上げ (2019年度春予定)
- ⑤ 運用期間 (2年間)

→ ミッション期間 約4年間

ミッションに必要な物

- ・ 資金  
衛星作成費: 1,000万円  
諸費: 1,000万円  
予備費: 1,000万円 (オプション等)
- ・ 物資  
電装 (通信、電源、温度管理、動力)  
反射機構 (ミラーまたはミラーとなるもの)  
拡散機構 (フィルム)

ミッションが成功したら肝付町がどう変わる?

- ・ 観光収入がもたらすサービス向上
- ・ 肝付町の観光資源が増える
- ・ 肝付町の認知度が高まる
- ・ オーロラを利用した地元民の工夫による産業発展



僕らの、この人工衛星への期待

- ・ 初の、高校生による新技術の確立への期待
- ・ SSRSによる、太陽光利用の発展
- ・ ピンポイント照射の産業利用
- ・ 斬新なアートの開拓
- ・ 宇宙教育効果
- ・ 次世代への足跡に

Thank You For Listening